



2007年11月22日(木) 田村 智子 先生

21世紀に即したピアノ指導法講座

『ページペラペラ、くらべてクラクラ、どーするメソッド』



国立音楽大学をご卒業後、アメリカにてピアノ指導法を学ばれ、テキストの翻訳など著者は100点以上！田村知子先生の講座です。

「メソッドは、なぜ必要なのでしょうか」

「メソッドの見分け方とは、なんのでしょうか」

「今の生徒にあったメソッドとは、どんなものなのでしょうか」

～ についてと、社会と共に変わらなければならないピアノ教室のあり方、親や生徒との交流など、一番何が大切なのかを考えさせられる内容の2時間でした。

ピアノ指導者方が受講され、たくさんのご意見を頂いた中から一部ご紹介します。

参加された理由 講座が終わって

新鮮感覚 レッスンに導入したかったため。

笑いすぎでリフレッシュしました！（写真）ユニークでとても楽しかったです。発想が面白い！これからのレッスンの参考に、非常にためになり、「これからやらせようという」意欲につながりました。

これからピアノ講師をはじめめる為。

テキストを選ぶ道しるべになりました。また、子供にとって楽しいレッスン、心によりそうレッスンとは何か、考えるきっかけになりました。

先生の教本を生徒さんに使用しているが、どの様な風にやっていく事がBestなのかを知りたかったから。

先生の楽しいレッスンが目に見えられました。これからも楽しい具体的な指導法をお聞きしたいなあと思いました。

今の子供の現状と合わせた考え方を知りたいと思ったので。

ノウハウだけでなく、ピアノ教室の伝える心をひしひしと感じました。

セミナーの題名が面白かったの。

「問題を抱えている子がどんどん増えている」という事に驚きました。そういう子達に、どうしていくべきか、とても考えさせられました。

今、生徒さんにアルフレッドレッスンブックを使用しており、初めての指導、初めて使う本でもあったので、田村先生の講座をぜひ受けたく思っていたため。

ピアノの指導を通して、今の子供たちへの先生の思いに心打たれました。指導法で、なるほど・・・と気づきもたくさんありましたが、ピアノ以前のこと、今の子供たちのお話に、考えさせられることがいっぱいでした。



講座終了後・・・

田村先生、
ありがとうございました

